

医学研究センター

フェロシップ部門

<部門員構成>

別所 正美	部門長, 大学病院・国際医療センター
森 茂久	総合医療センター
片桐 岳信	ゲノム医学研究センター
齋藤 一之	基礎医学
丸山 敬	副部門長, 基礎医学 研究センター事務部門

<活動目的>

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、大学院生や教員以外の研究者、非常勤研究者の経済的・身分的支援を目的とする。

<業 務>

1. 卒後教育フェロシップ(奨学金を本学から支出)の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記と関連して規定集(専攻生, 協力研究員, 特別協力研究員, 特任研究員)の確認

1. 平成19年度の活動について

庶務課の尽力により、奨学金募集並びに支給はほとんど問題なく遂行されている。今後とも不測の事態には教員と事務部門が協力して対応することを確認した。平成20年3月の選考も従来の選考基準に基づいて行うことにした。実際の申請者は日本人を1人、外国人3人であり、そのまま採用となった。

2. 現状と今後の課題の総括

<日本人研究者の補助について>

本フェロシップは基本的には外国人研究者を対象としており、現在の選考基準では、外国人応募者が4人以上の場合には、日本人研究者は除外されることになる。しかし、日本人研究者も状況によっては経済的支援が必要な場合がある。

下記を中心に議論された。

1. 外国人を3人までとして、1人を日本人枠とする。
2. 複数の日本人応募者がある場合には、その1人の支給枠を分割して複数に支給する。

研究センター運営会議や財務当局などの意見を広くうかがい、本年度の募集状況を勘案しつつ、平成21年2月の募集まで慎重に議論することとした。

<部門員構成について>

大学病院、総合医療センター、ゲノム医学研究センター、基礎医学から部門員を選出し、研究センター事務部門と調整しながら、広い観点から議論できるようにする。来年度は国際医療センターからも部門員を選出予定である。

<非常勤研究者の総合的支援について>

全学的な問題であり、種々の状況を勘案しつつ、慎重に検討する。

(文責 丸山)